



地域社会のためにつくします

平和堂は、地域社会の一員として、よりよい社会をつくるための取組みに注力し、「環境」と共存する会社を目指しています。



食育推進活動

さまざまな経験を通じて、健全な食生活を実践できる力を育てています。

産地収穫体験

お取引先様と共同開催の収穫体験を行っており、生産者の方々の話を聞いたり、採れたて野菜を使った料理教室をしたり、親子で楽しみながら生産者や食べ物に感謝するところを育てています。

この他、滋賀県のバスケットボールチーム・レイクスターズとのカレー作りのほか、毎年恒例となっている、宝酒造・紀文おせち料理教室なども好評いただいています。



▲稲作体験

2018年度収穫体験・料理教室

実施日	内容	場所	参加者数
3月17日	日生かき剥き体験	岡山県備前市	親子38名
5月21日	稲作体験(植付け)	滋賀県彦根市	親子13組38名
6月16日	金沢すいか収穫体験	石川県金沢市	親子15組34名
6月23日	きゅうり・玉ねぎ収穫体験	滋賀県近江八幡市	親子16組38名
6月30日	あさり漁体験	三重県伊勢市	親子17組37名
9月22日	稲作体験(収穫)	滋賀県彦根市	親子40名
10月21日	大豆収穫体験	滋賀県竜王町	親子21組78名
11月17日	みかん収穫体験	和歌山県田辺市	親子15組35名
10月13日	さつまいも収穫体験	徳島県鳴門市	親子17組40名
11月23日	しいたけ収穫体験	京都府南山村	親子12組28名



HATOC夏祭り

2018年8月4日、昨年に引き続き、平和堂本部前駐車場を開放して、第2回HATOC夏祭りを開催し、地元の方々を中心に約5,000名がご来場されました。さまざまな縁日や屋台の他、盆踊りや大抽選会など多くの方々に楽しんでいただき、地域とのコミュニケーションを深めることができました。



▲多くの地元の方々にご参加いただきました。

クッキングサポート キッズイベントの実施

アル・プラザ京田辺のクッキングサポートでは、地域の子どもたちを作ること・食べることの楽しさや大切さを伝えたいという思いから、毎月4~5回キッズイベントを開催しています。ただ作って食べるだけではなく、その時の使用食材や料理に関する豆知識などをクイズ形式で楽しく学ぶ場となっています。

【アル・プラザ京田辺のさまざまなイベント】

- ①応募型イベント(毎月2回)
旬の果物や野菜などを使ったデザート作り、ピザ作りなど
- ②自由参加型のイベント
野菜スタンプやアイシングクッキー作りなど
- ③店全体のイベント
クリスマスやハロウィンなど季節の行事

応募型のイベント

調理をメインにした教室は午前・午後合わせて40人の定員がいっぱいになるほど大人気。



▲毎回、子どもたちは真剣に取り組んでくれます。おいそうにでき、大満足です。

店全体のイベント

クッキングサポートを中心に店舗全体のイベントを実施。社員も子どもたちと一緒に楽しんでいます。



▲ハロウィンには一昨年の仮装大会以来、お店にはお気に入りの衣装で変装した子どもたちがたくさんいます。



▲クリスマスイベントには200名もの子どもたちが集まってくれました。

クッキングサポート
実施店舗
28店舗

2018年度新規導入店舗(6店舗)

- ・アル・プラザあまがさき
- ・アル・プラザ亀岡
- ・アル・プラザ城陽
- ・アル・プラザ堅田
- ・フレンドマート健都店
- ・フレンドマート交野店

旬のフルーツを使った
タルト作りはイチバン人気!!



自由参加型のイベント

「食」を通した学びがたくさんあり、子どもから大人まで興味をひく工夫がいっぱい。



切り口のいろんな野菜の
スタンプで「うちわ作り」



紫キャベツをゆがいた液体に
レモンや重曹などいろいろな物を
加えるとそれぞれ違う色に
変化します。



▲「紫キャベツの色の変化」

[VOICE] 子どもたちに喜んでいただくために

メンバーの声



お買い物だけではなく、楽しい時間や体験をしていただけるよう、他のメンバーとアイデアを出し合い工夫しています。イベントを通してより多くの地域の子どもの笑顔あふれるお店を目指しています。

アル・プラザ京田辺 クッキングサポート 澤田 真弓



▲(岐阜県/小野幼稚園の皆さんと)



◀(滋賀県/大宝カナリヤ保育園の皆さんと)



▲講座(京都府/東部保育所の皆さんと)

5A DAY (ファイブ・ア・デイ) ※1食育体験ツアー

平和堂では、1日に5皿分(350g)以上の野菜と200gの果物を食べましょう!という内容を楽しく学習できる食育体験ツアーを開催しています。1日に必要な野菜・果物の量を座学やゲームを通して学ぶ本ツアーは、地域への食育活動の一つとして取組みを強化しており、2018年度は、社内で初めて食育インストラクター養成講座を開催しました。食育インストラクターは12名まで増え、主に幼稚園・保育園の5歳児を対象にツアーを運営しています。さらに、講座で得た知識を店頭でも活用していこうと計画しています。

※1 5A DAY 運動

がんや生活習慣病の予防対策として世界30カ国以上で展開されている食生活改善運動。平和堂はファイブ・ア・デイ協会の会員となり、野菜・果物摂取を推進する食育活動を行っています。



「5A DAY 食育体験ツアー」参加者数の推移



▲お礼のお手紙が届きました (石川県/こぼと第2こども園)

PICK UP!

5A DAY食育インストラクターが12名になりました!

店舗近隣の園児や児童を対象に、青果売場で行っている食育体験ツアーの講師を社内育成する取組みとして養成講座を実施し、2018年度までに12名の食育インストラクターが誕生しました。地域の食育活動に積極的に取り組んでいきます。



アル・プラザ野洲 青果
夜野 早苗先生



アル・プラザ京田辺 青果
尾中 克匡先生
(現・アル・プラザ醍醐食品副店長)



アル・プラザ高槻 青果
高部 格先生
(現・経営戦略室)



尾西店 青果
小林 奈々恵先生



アル・プラザ鶴見 青果
川村 篤志先生



ピバシティ平和堂クッキングサポート
大橋 千雅子先生



アル・プラザ京田辺クッキングサポート
澤田 真弓先生



アル・プラザ栗東クッキングプラザ
佐々木 美子先生



フレンドマート日野店 サービス
堀江 清美先生

管理栄養士の川口さん(写真上・カスタマーリレーション部)とCSR推進室と一緒に取り組んでいます。



子ども環境学習「平和堂エコピースクラブ」

2018年度は5,974名の児童の皆さんに参加いただきました。

平和堂オリジナル教材で、店頭で回収された牛乳パックや食品トレーのリサイクルについて調べたり、店舗を見学して働く人の仕事について学んだりする「平和堂エコピースクラブ」。楽しく学習できる環境プログラムで小学3年生の授業として活用いただいています。



「エコピースクラブ」参加者数の推移



PICK UP!

びわ南小学校職場見学 フレンドマート長浜平方店【10月17日(水)】

びわ南小学校の職場見学を実施しました。当日はエコについてのお話を中心に、職場で働く人たちが、その様子を見ていただきました。普段見ることのできない場所に児童はもちろん、先生も感動され、「また買い物に来ます」と皆さん大喜びでした。今後も地域のお客様に喜んでいただけるよう、貢献していきます。

店長からのお話



稲葉店長のお話を真剣に聞く児童たち。エコチャレンジシートを持った売場見学組と、でんでん帽とマスクをしたバックルーム見学組に分かれました(その後交代で見学)。



▲見学後に作成された新聞がお礼と一緒に届きました!

売場見学組



野菜売場で地産地消の勉強。地元の野菜を探してもらいました。その他、エコバスケット、資源回収ボックスは何を集めて、どんなものにリサイクルされているか勉強しました。

バックルーム見学組



鮮魚では中野主任に実際に鯛をさばってもらいました。衛生管理から、作業場の温度など細かく設定されていることを説明し、みんな興味深く話を聞いていました。

デリカではコロッケやパンの匂いにみんな『おいそー』との声。寿司作業場では自動のシャリ玉口ポットに驚いていました。

低炭素社会の実現

省エネ設備に切替え、地球温暖化防止に努めています。

2018年度は、北陸電力様の指導による空調運用改善の取組みを、京阪、滋賀、東海地域へ拡大しました。また、昨年に引き続き、冷凍平ケースに硝子扉を設置して省エネ、カビ対策を実施、新型節水栓設置、新型高効率冷蔵冷凍ケース、空調の更新、照明器具のLED化を行いました。

さらに新たな取組みとして、冷凍設備、電気設備等に省エネ機器を設置し、検証等を行っています。全店でも省エネ対策に取り組んだ結果、全店直営昨年対比で、電気使用量を2,935千KWH(△1.0%)削減、水道使用量3,202千トン(△2.4%)削減、ガス使用量146千m³(△5.1%)削減、重油75千トン(△4.8%)削減しました。



▲吸収式冷水発生器をチラーに更新(坂本店)

▶一次エネルギー年間使用量の推移 (電気・ガス・石油類を原油量に換算)



▶CO₂排出量の推移



「平和の森づくり」活動

平和の森づくり、「健康」をテーマに活動

平和堂では、社員とその家族のボランティアによる森林保全活動「平和の森づくり」を福井県、滋賀県、京都府、岐阜県の4府県5か所で展開しています。

2018年度は、森づくりを楽しみながら心と体の「健康」維持と促進を目的とした新しいメニューを取り入れ、第1回目となる東近江市愛郷の森では「森林セラピー散策」を行いました。講師に松尾扶美さん(林業専門誌にも掲載されている林業女子)をお迎えし、森林保全活動が終了後、希望者を募って20名で実施。愛郷の森に自生しているさまざまな木々の葉っぱを触ってみたり、葉っぱの笛を作ってみたり、自然に親しんだ約1時間の散策を楽しみました。



▲伐採した木を使って棚づくりを体験

[VOICE] 活動を通して自然の大切さを伝える

事務局の声

私たちkikitoは、森林とともに豊かに暮らしていける未来を目指し、人の営みと森林が結びつくカタチをていねいに育てようと活動する団体です。

東近江市愛郷の森での「平和の森づくり」活動では、活動全体のコーディネートに携わらせていただいております。2018年度は健康をテーマに森林セラピー散策や間伐材を活用したクラフト教室などの催しを提供しました。森林活動を楽しむメニューをたくさん用意し、今後は滋賀の愛郷の森だけでなく、福井県や京都府、岐阜県の森づくり活動にも参加してまいります。

一般社団法人kikito 事務局長 田中 一則 様



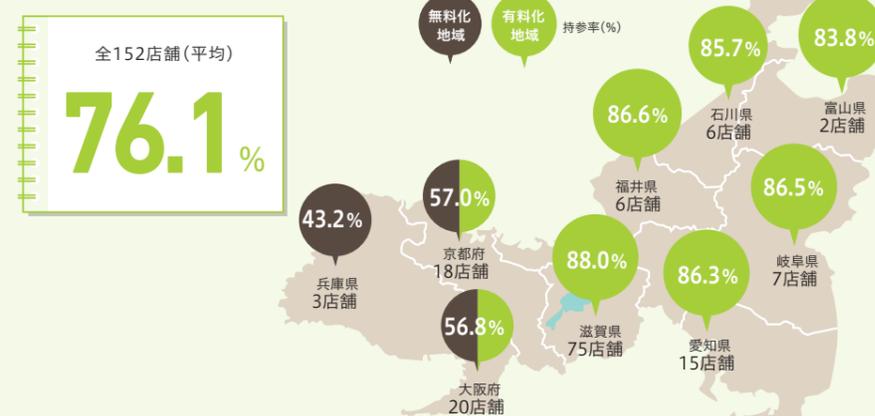
お買い物袋持参運動

大阪府北摂地域のレジ袋の無料配布中止 大阪府で初めての有料化

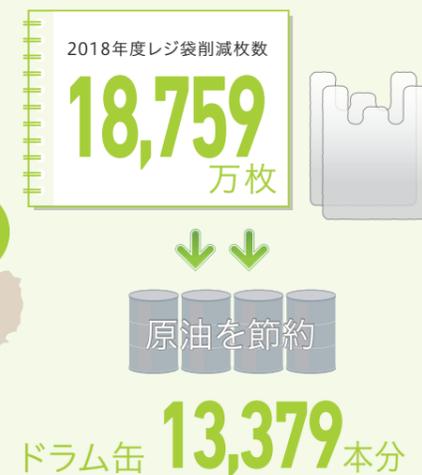
お買い物袋の持参は、包装ゴミの減量と石油資源の使用量削減に繋がります。お客様の毎日のご協力が地域環境保全に大きな効果をもたらしています。

2018年6月1日、大阪府の北摂地域7市3町と平和堂を含む10事業者が協定を締結して、レジ袋の無料配布中止に踏み切りました(平和堂対象店舗は高槻市、吹田市、茨木市の9店舗)。隣接する行政機関が連携して環境保全に取り組む事例は全国的にも初めてであり、同地域のお買い物袋持参率は約80%まで上昇しています。この影響もあり、2018年度の平和堂全店におけるお買い物袋持参率は昨年を2.6ポイント上回りました。また、エコバスケットは13,496個販売しました。

▶府県別お買い物袋持参率



▶お買い物袋持参率とレジ袋削減量の推移



「平和の緑づくり」活動

「平和の緑づくり」活動が愛知県に拡大しました。

平和堂は一部地域を除いて、環境保全活動の一環として食品売場のレジ袋の無料配布中止に協力しています。有料で販売したレジ袋の販売収益金は府県の緑化推進会などに寄附し、地域の小学校や幼稚園の緑化に役立てていただく「平和の緑づくり」活動が広がっています。

2018年度は、新たに愛知県へも活動が広がって4か所の小学校で植樹を行い、滋賀県11か所、石川県2か所、京都府2か所と合わせて合計19か所で緑化活動を実施しました。



▲京都市太秦保育園にて、園児と記念植樹(フレンドマート梅津店 林泰彦店長)

[VOICE] 植樹を通して地域に貢献

社員の声



2018年7月19日、近隣店舗を代表して、つつじが丘小学校の「つつじエコレンジャープロジェクト」完成式典に出席し、63名の児童と一っしょにつつじの苗木を植えました。

つつじが丘小学校にはこれまでは校名である「つつじの木」が1本もなかったため、ようやく念願が叶ったと感謝してもらえ、とても嬉しく感じた植樹式でした。今後も地域貢献活動に積極的に参加し、地域に愛される平和堂の取組みを広げたいと思います。

平和堂ビバモール名古屋南店 店長 高森 邦泰
(現・東海営業部 東海第二グループマネージャー)

循環型社会への貢献

廃棄物の削減と再資源化に取り組み 循環型社会の実現を目指しています。

廃棄物の削減

廃棄物のリサイクル率を向上させ、最終廃棄処分量を削減するために、廃棄物の総発生量・リサイクル量・最終処分量を管理しています。

2018年度の廃棄物発生量は32,634tで、前年に比べ209t削減することができました。また、リサイクル率も73.0%と前年に比べ0.7ポイント上げることができました。

▶廃棄物の発生量とリサイクル量の推移



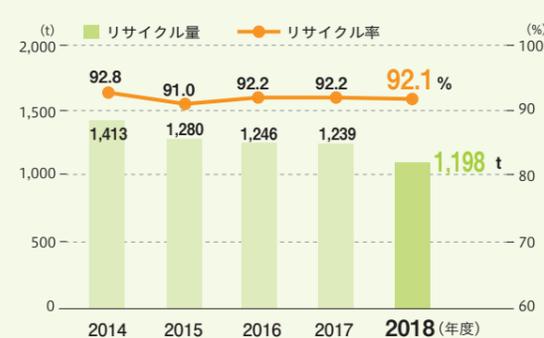
平和堂リサイクルセンター

自社施設「平和堂リサイクルセンター」にて、資源の有効活用に取り組んでいます。ここでは、店頭回収したペットボトルや納品用ハンガーなどのプラスチック類、不要になった不燃物などを回収し、プラスチック・金属・ガラスなど、種類ごとに手選別で解体・分別しています。

分別されたものは固形燃料(RPF)化等の処理をしてリサイクルされており、特にプラスチック類は、素材ごとに破碎処理することで、リサイクル率を向上させています。

2018年度のリサイクル率は、92.1%で1,198tを資源として再活用できるようにしました。

▶平和堂リサイクルセンター処理量の推移



食品廃棄物リサイクル

店舗で発生する食品廃棄物の抑制に取り組むとともに、食品リサイクルを推進しています。

2018年度の発生量は、7,099tと前年に比べ318t削減することができました。

この食品リサイクルにより堆肥化された野菜くずは「循環エコ野菜」に活用されるほか、リサイクル飼料として、畜産にも利用されています。

▶食品廃棄物リサイクル量の推移



資源ごみを回収し、 リサイクルを推進しています。

店頭での容器回収

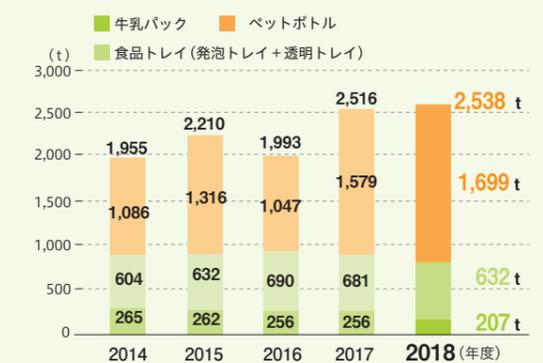
地域のリサイクル活動に貢献できるよう、店頭で専用回収BOXを設置し、使用済みの牛乳パック、食品トレイ(発泡・透明)、ペットボトルの回収を行っています。

リサイクルステーション

2010年から開始したリサイクルステーション(えこすぽっと、Rステーション、ecoひろば*)は現在58店舗まで拡大しました。お客様が持参された資源の重量に応じて専用カードにポイントが加算され、500ポイントで平和堂商品券と交換することができ、大変好評です。

*1 ecoひろばは、5,000ポイントで平和堂商品券と交換になります。

▶店頭回収量の推移



▶リサイクルステーション回収実績(2018年度)

▶リサイクルステーション設置店舗数



環境教育・啓発

平和堂環境教育DVDを新たに作成しました。

ISO14001 2015年版への移行に伴い、社内環境教育で使用していた「環境教育DVD」を新たに製作し、全社員に視聴してもらいました。このDVDでは、平和堂環境マネジメントプログラムの運用の流れについて項目ごとに具体的に説明し、PDCAのサイクルがわかりやすくなっています。

また、DVDの最初と最後には平松社長に登場していただき、平和堂の環境への取組みについてお話していただき、全社挙げての教育を展開しています。



▲環境教育DVD



子ども食堂への支援

滋賀県内の子ども食堂を応援しています。

滋賀県内にある子ども食堂※1は全国的にみても非常に多く、現在120か所を超えています。平和堂では2017年11月に滋賀県社会福祉協議会が中心となって立ち上げた「子どもの笑顔はぐくみプロジェクト※2」の sponsor 第1号として寄付・支援を始めました。

年2回(夏・冬)、滋賀県内全店舗において「子ども食堂応援募金」を実施し、春と秋の寄付金贈呈時に募金分として別途で贈呈しています。

※1 子ども食堂
貧困家庭や孤食の子どもに対し、食事や安心して過ごすことのできる場所を提供することを目的に始められた社会活動で、最近では地域のすべての子ども、親、地域の大人など、対象を限定しない食堂も増えています。地域のボランティアなどで運営し、公民館等の公的施設で月1〜2回程度開催の食堂が多いです。

※2 子どもの笑顔はぐくみプロジェクト
滋賀県社会福祉協議会が事務局となり、知事や県経団連会長等が呼びかけ、スポンサーを募集し、子ども食堂支援を中心に子どもを守ることを目的としたプロジェクト。

寄付・支援状況

- 2018.3.27 上期分 **285万円(商品券)103食堂分**
858,515円(募金分)※2017.12.5〜2018.2.20募金実施
- 2018.9.25 下期分 **319.2万円(商品券)122食堂分**
431,779円(募金分)※2018.7.1〜8.20募金実施



▲彦根市の子ども食堂の皆さんが来社



▲彦根市内の7つの子ども食堂の皆さんから「ありがとう」の感謝の気持ちをメッセージボード(手作り絵画)にさせていただきました。

文化 振 興

第37回平和堂春休み親子劇場

平和堂は「小さな胸に大きな感動」をテーマに子どもたちに夢と感動を与える情操教育の機会を提供する催しとして、世界の名作を題材としたぬいぐるみミュージカル「春休み親子劇場」を開催しています。37年目を迎えた2018年度は、「3びきのこぶた」と「ブレーメンのおんがくたい」の2本立て、5つの会場で8公演を開催し、延べ8,300名のご家族に観劇いただきました。

企業との協賛

伊藤園ヨシ刈体験

2019年1月、守山市木浜町において「琵琶湖環境保全活動」の一つであるヨシ刈体験が開催され、三日月大造滋賀県知事、宮本和宏守山市長をはじめ約280名が参加しました。

また、「琵琶湖を、もっと美しく。」をテーマに参加者全員で湖岸清掃活動を行い、侵略的外来植物「オオバナミズキンバイ」の駆除活動を行いました。体験後は、バスで琵琶湖博物館に移動し、ヨシ笛演奏を聴きながら昼食。その後、琵琶湖博物館の見学やお茶セミナー、積み木体験などを楽しみました。



▲参加者の皆さん

地域コミュニケーションの推進

活気ある社会の実現に向けた活動に取り組んでいます。

地域スポーツ振興

第45回記念! 滋賀県知事杯争奪(第27回若ハト杯) 平和堂ママさんバレーボール大会

平和堂は地域のスポーツ振興を目的に、滋賀県のママさんバレーボール大会を支援しています。1974年から始まったこの大会は、2018年は45回目の記念大会となり、各地区ブロック予選から勝ち上がった26チームが本大会へ進み、さらに勝ち進んだ12チームで決勝トーナメント(8/25守山市民体育館)を行い、本大会に出場した全選手に45回記念のはとぴーグッズをプレゼントしました。

第35回平和堂カップ福井綱引大会

平和堂は1986年から福井綱引大会を支援しています。2019年2月17日、サードーム福井(福井県越前市)にて、第35回となる2018年度の大会が開催され、北陸はもとより関西や東海地区からも集まった115チーム1,426名が出場しました。子どもの部では保護者の熱い応援で盛り上がる一方、大人の部では、綱がきしむ音がするほどの迫力のある緊迫した試合が繰り広げられました。

今年は、初めて平和堂から2チームが「エンジョイの部」で参加しました。



▲平和堂ママさんバレーボール大会



▲熱戦が繰り広げられた綱引大会



▲ピワイチ応援フェア

◀専用木製ラック



▲ピワイチエイドステーション

ピワイチ※3をサポート

2018年3月、平和堂は、サントリーフーズ株式会社様、サントリー酒類株式会社様と協働して、滋賀県内全店舗をピワイチの「サイクルサポートステーション」として登録、ピワイチサポートプロジェクトを開始し、滋賀県と連携した活動を推進しています。

また、2019年3月10日に開催されたびわ湖一周ロングライドでは、エイドステーションの彦根市を平和堂が担当し、バナナやチョコ、飲料等をサイクリストに提供、約1,500名の参加者をサポートしました。

1. 滋賀県内全店舗(75店舗)を「サイクルサポートステーション」として登録

- ①専用の木製サイクルラック(日野町の県産材を使用)の設置
- ②空気入れ・工具の無料貸し出し
- ③バンク時に備え交換用チューブを販売

2. ピワイチ推進のための寄付活動

「ピワイチ応援フェア」を開催、サントリー対象商品の売上の一部と平和堂からの寄付を合わせて、ピワイチサイクリングマップの制作に寄付しました。このサイクリングマップは県内の全サポートステーションでサイクリストに無料配布されています。

※3 ピワイチ
びわ湖一周約200kmを自転車一周すること。滋賀県では観光交流局に「ピワイチ推進室」を設置し、より多くの方にピワイチを安全・安心に楽しんでもらえるように取り組んでいます。

環境マネジメント

全店でISO14001の認証を取得しています。

平和堂は、環境の国際規格 (ISO14001) の認証を本部および全店で認証取得しており、社長をトップとした組織体制で環境マネジメントシステム (EMS) を運用しています。2018年度は8項目の目標のうち、3項目で目標を大幅に上回り、3項目で目標達成しました。

しかし、CO₂排出量の削減、平和堂エコピースクラブの拡大については目標未達成でした。

社会情勢の影響により、達成に至らなかった項目もありますが、それぞれの原因分析と共に、目標達成できる取り組みを進めていきます。

▶2018年度の実績と2019年度の目標

◎ 目標を大幅に上回る ○ 目標達成 △ 目標未達 ✕ 目標を大幅に下回る

環境方針	2018年度目標	2018年度実績	2019年度目標
環境に配慮した商品づくりと提供を推進します	環境配慮型商品の販売拡大 環境セレクトの御奉仕高向上 環境セレクトの認知度向上 2017年度実績 120.5億円	123億円 13,126,547千円 (昨年比:108.9%)	◎ 環境配慮型商品の販売拡大 環境セレクトの御奉仕高向上 環境セレクトの認知度向上
省エネルギー・省資源を推進します	一次エネルギー使用量の削減 (電気・ガス・石油類) エコストア省エネ設備導入推進 2017年度対比(原単位) kwh/h・㎡	1%削減 0.071kwh/h・㎡ 1.44%削減(原単位) (昨年:0.073kwh/h・㎡)	○ 一次エネルギー使用量の削減 (電気・ガス・石油類) エコストア省エネ設備導入推進 (原単位)2018年度対比
	配送車両の使用燃料の削減 センター集荷便数2017年度対比 (1店舗あたり月平均)	1%削減 年度計便数 平均 176便 6.5%削減	◎ 配送車両の使用燃料の削減 センター集荷便数2018年度対比 (1店舗あたり月平均)
	水道使用量の削減 2017年度対比(原単位) ㎥/h・㎡	1%削減 0.328㎥/h・㎡ 1.83%削減(原単位)	○ 水道使用量の削減 (原単位)2018年度対比
	紙の使用量削減 コピー用紙・POP用紙使用枚数 2017年度対比既存店総枚数/枚	1%削減 48,557千枚 7.1%削減	◎ 紙の使用量削減 コピー用紙・POP用紙使用枚数 2018年度対比既存店総枚数/枚
地球温暖化防止のため、CO ₂ 排出量を削減します	CO ₂ 排出量の削減 2017年度対比(原単位)	1%削減 36.088t-CO ₂ /h・㎡ 0.68%削減	△ CO ₂ 排出量の削減 (原単位)2018年度対比
廃棄物の削減と資源の有効活用に取り組みます	生ゴミのリサイクル率の向上 2017年度実績 62.0% (魚アラ・廃食油リサイクル等)	62.3% (昨年比100.5%)	○ 生ゴミのリサイクル率の向上 生ゴミ・魚アラ・廃食油リサイクルの推進
地域社会の環境保全活動を支援します	平和堂エコピースクラブの拡大 子ども環境学習への参加団体の増加 2017年度実績97団体	100団体 累計実施回数112回 96団体	△ 平和堂エコピースクラブの拡大 子ども環境学習への参加団体の増加

環境会計

環境に配慮した経営を効率的に推進しています。

平和堂では、環境保全のための投資や費用を定量的に管理し、その効果を金額として把握することで、取り組みの一層の効率化を図るとともに、合理的な意思決定を行うための環境会計に取り組んでいます。

集計範囲 株式会社平和堂(単体) 対象期間 2018年2月21日~2019年2月20日

▶環境保全コスト

分類	主な取組み内容	2017年度		2018年度	
		投資額	費用額	投資額	費用額
(1) 事業エリア内コスト		1,080,100	933,185	894,500	926,075
内訳	(1)-1 公害防止コスト		137,092		143,969
	(1)-2 地球環境保全コスト	1,080,100	800	881,930	800
	(1)-3 資源循環コスト		795,293	12,570	793,624
(2) 上・下流コスト	容器包装リサイクル法再商品化委託料・お買い物袋持参エコポイント費		191,914		138,815
(3) 管理活動コスト	ISO審査登録コスト・専任者人件費 社員教育・CSR報告書作成費		33,294		32,017
(4) 研究開発コスト		—	—	—	—
(5) 社会活動コスト	平和の森づくり・有料レジ袋収益金寄附 環境展出展・子ども環境学習		15,859		14,419
(6) 環境損傷対応コスト		—	—	—	—
合計		1,080,100	1,174,252	894,500	1,111,326

■環境保全効果

①事業エリア内コストに対応する効果

分類	環境パフォーマンス指標(単位)	2017年度	2018年度
事業活動に投入する資源に関する効果	電気使用量 (MWh)	282,629	280,149
	ガス使用量 (千m ³)	2,810	2,848
	重油・灯油使用量 (kl)	1,675	1,579
事業活動から排出する環境負荷及び廃棄物に関する効果	軽油使用量 (kl)	5,434	5,241
	水道使用量 (千m ³)	1,544	1,508
	CO ₂ 排出量 (t-CO ₂)	160,827	157,406
	廃棄物総排出量 (t)	32,843	32,634
	廃棄物最終処分量 (t)	9,105	8,814
	排水量 (千m ³)	1,544	1,508

②上・下流コストに対応する効果

分類	環境パフォーマンス指標(単位)	2017年度	2018年度
事業活動から産出する財・サービスに関する効果	レジ袋使用削減枚数(千枚)	182,443	187,586
	牛乳パック回収量(t)	256	207
	食品トレイ回収量(t)	681	632
	ペットボトル回収量(t)	1,579	1,699

■環境保全対策にともなう経済効果

(単位:千円)

効果の内容	2017年度	2018年度	
収益	店頭回収品リサイクル売却益	33,689	37,831
	有料レジ袋収益金	6,635	7,486
費用節減	省エネ設備導入効果	110,028	115,325
	お買い物袋持参推進によるレジ袋費の節減	450,514	464,584
	レジ袋使用減による容器法再商品化委託料の節減	47,002	45,890
	リサイクル推進による廃棄物処理費の節減	10,613	9,310
合計	658,481	680,426	